

[第9-第16講座] 全日10:30～17:00(受付10:00～)

相続税申告における最重要項目である 名義預金の実務(確認方法及び申告への対応)を確認

相続税の申告実務において、最も注目される事項の1つとして被相続人の名義ではないものの実質的に被相続人に帰属すると認められるいわゆる名義預金への対応があります。この名義預金を確認することなく相続税申告を行うことは危険でお勧めすることはできません。

本講座では、下記に掲げる内容で名義預金と相続税申告業務への対応という実務上の悩ましい項目について検討してみます。

第9講座	東京 8月21日(土)	大阪 8月11日(水)
第10講座	東京 8月22日(日)	大阪 8月12日(木)
第11講座	東京 9月4日(土)	大阪 9月25日(土)
第12講座	東京 9月5日(日)	大阪 9月26日(日)
第13講座	東京 10月10日(日)	大阪 10月30日(土)
第14講座	東京 10月11日(月)	大阪 10月31日(日)
第15講座	東京 11月20日(土)	大阪 11月27日(土)
第16講座	東京 11月21日(日)	大阪 11月28日(日)

1. 近年における相続税申告(税務調査)の状況
2. 預金の真実の帰属者に係る確認(考え方)
3. 相続税申告に当たっての名義預金の確認方法
4. 名義預金に係る裁決事例及び裁判例の確認

題記の件につき、下記に掲げる観点から名義預金に係るさまざまな裁決事例や裁判例を確認します。

(1) 夫婦間における名義預金の事例

- ① 専業主婦である場合の事例
- ② 共働夫婦である場合の事例

(2) 親子(孫)間における名義預金の事例

(3) 名義預金に係る立証挙証責任

(4) 名義預金に対する税務修正と重加算税の賦課決定の可否

上記に掲げる各種論点が争点となった裁決事例や裁判例を約20事例程度ご紹介します。

この裁決事例や裁判例を検討することによって、法令通達集や実務問答集では確認できない相続税申告実務の奥義を確認します。